

地域公共交通について 新たな路線の計画について

議員 具体的な計画を担当部長に尋ねる。

総務部長 地域公共交通の見直しについては、昨年実施した住民アンケートの結果などを基に検討を進めており、その内容については、新年度以降、順次実施する予定となっている。

四月一日から、既存の「デマンド型乗合タクシー」四路線における路線の延伸と、それに伴うダイヤ改正を実施する。これらの見直しでは、イオン五條店へのルート確保及びJR五條駅での鉄道との連絡が可能となる。

新たな路線の計画については、北宇智地区と牧野地区、野原東地区、そして奈良交通路線の撤退後、交通空白地域となっている二見地区などが挙げられる。この「交通不便地域」について、今後は更に地域の実情を詳細に把握し、路線の在り方と運行ダイヤ、運行事業者などを決定し、所定の手続きを経て、平成二十四年の年内に新路線が誕生することになる。

また、車両の購入費用一台分を新年度予算案に提案している。

高齢者の無料化について

議員 地域公共交通の目的は、住み続けるための「足」の確保であり、高齢者に優しいまちづくりである。多くの方に乗車していただくためにも、高齢者の無料

化を実施していただきたい。

総務部長 現在、本市の公共交通の利用者の多くは高齢者であり、その利用料金を有償にするか無償にするかの判断に当たっては、受益者負担の考え方が大きく影響するものと思われる。

本市としては、高齢者に対しても、受益者として無理のない程度のコストを御負担いただき、「自分たちの足を自分たちで利用して守る意識」の醸成を目指していきたいと考えている。

議員 橋本市では、年齢七十五歳以上の市民の方に橋本市コミュニティバスが無料で乗車できる敬老バス乗車券を希望者に発行している。大淀町は、誰でもが無料で乗車している。この無料化実施について市長に見解を求める。

市長 あえて費用を負担することで、一人一人が本市の地域公共交通を支えているという意識を持っていただき、公共交通に対する問題意識についても、持ち続けていただきたいと考えている。

公共交通政策は、地域住民にとって最も身近で重要な政策の一つであり、その政策を少しでも良いものにしていくためには、五條市の財政状況と全体的なことを踏まえながら今後も再度検討し、前向きに進めていきたい。



台風十二号に係る 大塔町の災害復旧工事について

議員 現在行われている国・県・市の災害復旧工事の主な施工箇所はどこになるのか。

都市整備部長 国直轄砂防事業として、赤谷地区の土砂ダムの河道閉塞緊急対策工事、清水地区の大規模崩壊対策工事。県管轄の道路災害として辻堂、阪本地区で三か所、高野辻堂線で六か所、篠原宇井線で二か所、高野天川線で三か所、河川は熊野川で二か所、川原樋川で三か所、小原川で二か所、砂防工事は柳谷・鍛冶屋谷の二か所で、市道は中原、辻堂、川西、宇井及び赤谷で六か所、橋梁二か所、河川は赤谷川一か所で、国・県・市において調整を図り、安全で安心なインフラの復旧を実施してまいりたいと考えている。

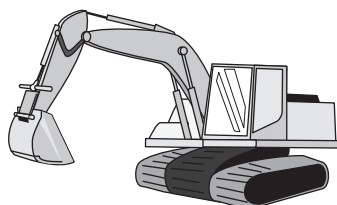
生活産業部長 国による直轄治山事業として赤谷地区の山腹崩壊復旧工事二か所及び堂平地区の地滑り防止工事三か所で、市においては林道殿野坪内線ほか二路線八か所で、工事に当たっては各機関と連携を取りながら効率的に進めてまいりたいと考えている。

議員 地域住民に欠かせないライフラインの整備状況はどうなっているか。

上下水道部長 宇井地区簡易水道施設は、昨年十一月に仮設浄水処理施設を設置し

て安定給水に努めているが、水量が乏しいためこれを移転して施設の充実整備を図り、本復旧に努めてまいりたい。殿野地区飲料水供給施設は水道施設そのものに被害はないが、安全対策に係る測量設計と復旧工事を今後実施してまいりたい。

総務部長 土砂崩れによる伝送路の切断で携帯電話は一時不通となっていたが、現在は全て通話が可能である。中井傍示の基地局は三月下旬からサービスを開始する予定である。



企業誘致の状況について

議員 企業誘致に向けた市長のトップセールスと目標について尋ねる。

市長 市独自や県と連携をとりながら企業誘致活動を行っているが、平成二十八年度の京奈和自動車道の開通がラストチャンスとの目標としている。誠心誠意対応し、より早く企業誘致を促進してまいりたいと考えている。